

感性情報学

選 択

開講年次：3 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**:人間の感性をデザインに応用するための情報処理手法について解説する。工業製品などの「道具」を例にして、人間の感性に基づいた道具操作のあり方と感性評価に基づいた形の提案を行う。そのため感性情報の収集、感性情報の解析、感性情報のイメージ変換と、デザイン発想における感性情報の活用について学ぶ。

■**到達目標**: ①感性情報について理解し、感性情報の抽出手法を学ぶ
②感性情報に基づいたデザインを提案する力をつける。

■**担当教員**:

張 浦華

■**授業計画・内容**:

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 感性情報とデザイン
- 第 3 回 デザインの感性評価
- 第 4 回 感性情報の数量化
- 第 5 回 嗜好・好みと他事象との関連
- 第 6 回 嗜好・好みと他事象との関連調査の設計
- 第 7 回 嗜好・好みと他事象との関連調査の実施
- 第 8 回 調査データの集計
- 第 9 回 調査データの解析
- 第10回 関連嗜好の考察
- 第11回 潜在ニーズの抽出
- 第12回 感性情報に基づいたデザイン提案計画1
- 第13回 感性情報に基づいたデザイン提案計画2
- 第14回 感性情報に基づいたデザイン提案計画3
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**: 必要に応じて紹介する

■**参考文献**: 講義の中で必要に応じて、紹介する。

■**成績評価基準と方法**: 授業態度と出欠、及び課題レポートにより総合評価する。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
小テスト・授業内レポート	◎		各回のポイントを理解していること	20
授業態度	○		積極的な姿勢	20
発表		◎	第三者に理解しやすい内容	20
課題・作品		○	提案のオリジナル性と完成度	30
出席	○		2/3以上出席	10

◎:より重視する ○:重視する 空欄:評価に加えず

■**関連科目**: 感性科学、感性デザイン

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**: 欠席時数が全体の1/3を超えた場合や課題未提出の場合には単位が取得できない場合があります。